

◆ 平成29年度 活動報告シート ◆

団体名：つるがしま緑のカーテン市民実行委員会（愛称：みどりかぜ）

20A-18

代表者：会長 前田則義

URL：http://towntip.jp/tsurugashima/sns/cr.php?bbs_id=686

1. 活動が必要とされた状況

緑のカーテンは、夏の暑い日差しを和らげ、エアコン等の電力の省エネやヒートアイランド現象対応に効果があり、温暖化対策の一ツールとして注目されております。東日本大震災以来、省エネ・節電が叫ばれています。緑のカーテンはどなたでも簡単に作れ、間接的に省エネ・節電効果が期待され、また癒し効果や収穫物の楽しみもあり多くの市民に参加していただき、微力ではありますが地球温暖化防止に寄与したいと活動しています。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ①毎月第3火曜日に「みどりかぜ会議・意見交換会」を定例開催。毎回10名程が参加。
- ②会員で、種から苗の育成を実施。西洋朝顔、インゲン等約1500本。会員11名参加。
- ③念願の「緑のカーテンハンドブック」初版1000部を刊行した。（2017年4月）
- ④緑のカーテン苗の配布会。（5/7、約400名）苗（ゴーヤ：300、西洋朝顔：700、他800）
苗育成講習会を開催。（5/7、約70名）



- ⑤緑のカーテン講演会。講師：菊本るり子先生（6/18、52名）

- ⑥緑のカーテンの恵み料理教室。講師：高山厚子先生（9/3、31名）

- ⑦第2回緑のカーテン展覧会（12/18～12/22）&情報交換会（12/19、18名）を開催。

- ⑧緑のカーテン！土作り講習会を開催：2018/2/25（19名）



緑のカーテンハンドブック



菊本先生講演会



高山先生料理教室



土作り講習会

3. 活動の成果

- ①苗の配布会には多くの市民の方が参加され、また市民活動の実践体験で城西大学の学生さんに今年もご参加いただきスムーズに配布できた。
- ②念願であった「緑のカーテンハンドブック」を刊行し、各種イベントで配布できた。
- ③著名な菊本・高山両先生にお越しいただきイベントを開催できたことは大きな成果です。
- ④鶴ヶ島市中央図書館からの要請で、初の緑のカーテン設置に協力できた。

4. 今後に残された課題

- ①緑のカーテン用の蔓性苗（西洋朝顔、フウセンカズラ等）の継続的配布。
- ②小中学校、公民館、保育園等への緑のカーテン育成支援。（出前授業等の検討）
- ③本環境団体の継続推進のため、新会員増を図る。
- ④緑のカーテンは市民の出来る温暖化対策として、大きなムーブメントに展開したい。